

病害虫 防除だより

No. 378

令和6年8月6日

トマトキバガ発生圃場の対策について

令和6年3月中旬に、県内のトマトハウスで初めて幼虫による葉の食害が確認され、その後は複数の地域のハウスで食害が確認されました。現在は、被害葉の処分（土中埋却、厚いビニール袋等で密閉）や定期的な薬剤散布により被害は最小限に抑えられています。

トマトキバガが発生したら、ハウス外への拡散と次作への持越しを防止するため、下記の対策を実施しましょう。

1) ハウス周辺の環境整備

成虫の飛び込みを防ぐために、ハウスの開口部には防虫ネットを設置する。

施設周辺は除草して生息域を減らす。



図1 成虫(静止時5~7mm)



図2 フェロモントラップ誘殺虫

2) 圃場の観察

圃場内で白~肌色の葉があったら、ヤケや病害によるものかトマトキバガの加害痕であるか観察する。トマトキバガは表皮を残して袋状に食害するため、薄皮の中に幼虫や黒い虫糞が見える。果実の侵入痕は小さいため見逃さないように注意する。



黒い虫糞

図3,4 被害葉



3) 薬剤散布による防除

発生を確認したら直ちに防除を行う。

苗の段階では被害が大きくなりやすいので注意する。

定植時の粒剤等を施用して、初期加害を防ぐ。

防除薬剤については最新情報を確認する。

<https://pesticide.maff.go.jp/>

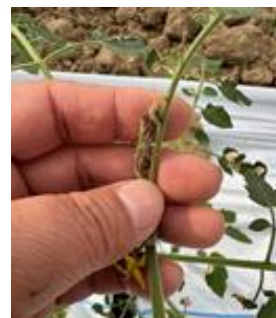


図5 苗の被害

4) 栽培終了後の対策

発生したトマトキバガを次作に持ち越さない、周囲に拡散させないため、残渣処分する前に、ハウスの開口部を全て閉め切って「蒸し込み処理」を行い害虫を駆除する。コナジラミ類等他の害虫にも駆除効果がある。

蒸し込みの期間の目安：10日以上（連続晴天日3日以上）

令和6年度農作物病害虫防除指針 <https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/021033/shokuryouanzen/boujoshishin.html>

◇◇◇ 最新の農業登録情報 (<http://pesticide.maff.go.jp>) を確認して下さい ◇◇◇

福井県農業試験場病害虫防除室

連絡先：0776(54)9315

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/kankyo/boujyo.html>

QRコードをスキャンしてください→

福井県病害虫防除室

